「メンター研修」を中心とした、若手教員の育成を目指す短時間で行う校内研修の事例

|  |
| --- |
| 研修名：「特別の教科　道徳」における評価に関する研修 |

|  |
| --- |
| 目　的：「特別の教科　道徳」における指導上の留意点や評価方法の在り方について学ぶ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学校種 | 小・中学校 | 研修時間 | 30分 |
| 対　象 | （メンティ）：学級担任として道徳指導にあたっている若手教員  （メンター）：道徳教育推進教師 | | |
| 配付物 | ・学校の道徳の時間指導計画、別葉（各自持参）  ・道徳教育推進教師作成の資料　A4版１枚 | | |

■　展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　間 | 主　な　内　容 | 備　考 |
| ５分  ５分  15分  ５分 | １　オリエンテーションと交流  　　ミニ研修の目的を確認するとともに、道徳の時間の授業について課題等を交流する。  ２　説明  　　メンターが現行の学習指導要領と次期学習指導要領の道徳についての内容の違いと移行期間について説明する。  ３　演習  (1) 児童生徒の道徳の評価に関わり、どのような方法が考えられ、それに伴ってどのような注意や配慮が必要か意見交換をする。  〈「特別の教科　道徳」の評価について〉   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 目的 | 手段や方法 | 注意・配慮 | | 継続的な把握 |  |  | | 肯定的評価観 |  |  | | 多面的・多角的な見方 |  |  |   (2) メンティ一人が１項目を担当し、付箋に内容を書いて貼っていく。添付後に内容を交流しながら整理する。  ４　説明、まとめ  (1) メンターが資料における「評価のポイント」を示し、演習で整理された内容を生かしながら、まとめる。  (2) 道徳の教科化に向けての「移行期間」であることを意識して実践を進めるとともに、学習指導要領の改訂にスムーズに対応できるよう激励し、研修のまとめとする。 | ※日常の授業を振り返り、活発に話合える雰囲気づくりをする。  ※現在使用している指導計画、別葉をもとに理解する。  ※あらかじめ模造紙に枠を用意しておく。  ※研修後、メンティは授業改善の視点をもち、改めて指導計画を見直す。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 期待される成果 | 児童生徒の道徳性を養うためには、教育活動全体を通して行うことを確認するとともに、「特別の教科　道徳」の評価における手段や方法、注意・配慮点の交流を通じて、道徳科の評価は、年間を通じて計画的に行うなどの理解を深めることが期待できる。また、問題解決的な学習を取り入れるなど、指導方法の工夫に積極的に取り組むことが期待できる。 |